



# 2024年度予算について

全会計 およそ 3430億円 うち一般会計 およそ 1900億円

市民の命とくらしを守るために必要な予算や条例には賛成し、そうでないものには反対しました。

## 反対した主なもの

- ・規制緩和や市民合意のない都心軸再整備 ・金沢港整備
- ・保険証の廃止 ・国保、後期高齢者医療保険の引き上げ
- ・金沢版学力テスト ・8000食の学校給食巨大共同調理場
- ・介護保険サービスの規制緩和 など 詳細はこちらから →



## NEW 取り組んできたことが実現！

一方、新年度予算ではこれまでみなさんと取り組んできたことが実現しました。代表質問などで明らかにしました。詳しくは →



### 学童保育支援員の処遇改善

支援員については、時給1000円に満たない人件費の積算根拠が引きあがることに！

年収にすると、

2023年度 約204万円

2024年度 約250万円↑



### 保育士配置基準の改善

新年度から保育士の配置基準が、4,5歳児で30人から25人、3歳児で20人から15人に改善されます。さらに金沢市では、**4,5歳児で20：1となる園への助成もされる**ことに。

### 熱中症対策の改善

夏場の高温時に、本庁舎や各福祉健康センター、健康プラザ大手町などに**避暑休憩スペースを設置して、応急用の飲料なども配備する**予定。

### 金沢方式の見直し

2025年4月からの適用開始をめざし、公民館・児童館・消防団の施設整備における地元負担の軽減等について**あり方検討会を設置して検討する**ことに。

# 引き続き取り組む課題



## 子どもの医療費助成

県内の金沢市以外の市町は、18歳まで窓口でも一切医療費の負担はありません。みなさんと署名も行い、金沢市も昨年10月から入院についてはそうになりましたが、通院がまだです。18歳まで通院も入院も完全無料に！



## 補聴器購入補助

加齢によって難聴が進み、補聴器が必要となりますが、高く買えません。そんな実態に購入補助制度を導入する自治体が次々に生まれています。金沢市は「研究する」という段階。進むよう取り組みます。

## 除雪の拡充



金沢市の市道で公的除雪が入るのは4割にとどまります。これまでも声をあげ、除雪が入る積雪の基準が緩和、除雪車を操縦する方の育成予算がつくなど変化。除雪路線が増えるよう取り組みます。

## 介護保険について



介護保険料は3年間据え置きとなります。基金の大幅な取り崩しが行われます。一方で、介護保険は、高齢化で介護給付が伸びると保険料が高くなる仕組みであり、国がもっと負担をするべきです。安心して介護が受けられるよう取り組みます。

## 保険証は存続を！



マイナンバーカードと保険証の一体化を進めるため、金沢市も今年の12月に保険証を廃止する予定です。

国保の場合、今秋に発行する保険証は1年有効ですが、その後は「資格確認書」というものになる予定です。

医療機関の受付では、マイナ保険証のトラブルが今も続いており、国民の利用は4%台です。

そもそも、マイナンバーカードの取得は任意であり、保険証の廃止はカード取得の強制につながります。安心して病院にかかるためにも保険証の存続を求めます。